

公開シンポジウム (日-仏逐次通訳付き) (暫定版)
フランスにおけるインクルーシブ教育の現実と今後の展開を探る

1. 日時 : 平成 28 年 3 月 18 日 (金) 13 時 00 分~17 時 00 分
2. 場所 : TKP 品川カンファレンスセンター・4I 会場 (定員 50 名)
〒108-0074 東京都港区高輪 3 丁目 26 番 33 号 京急第 10 ビル (品川駅高輪口から徒歩 1 分)
TEL : 03-5793-3571 (事務所直通)
アクセス : <http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinagawa/access/>

3. プログラム

12 : 30~13 : 00 受付

13 : 00~13 : 05 挨拶・趣旨説明

13 : 05~13 : 20 **フランス通常教育の学業不振児課程への障害児統合の実態**

研究代表者 : 棟方哲弥 (国立特別支援教育総合研究所)

13 : 20~14 : 50 **インクルーシブ教育と公的な取り組み-対立と未到達の現実-** (仮題)

Philippe MAZEREAU 氏 (Université de Caen Basse-Normandie)

講師紹介 : 特殊教育教員を長く務めた後、医療教育院 (IME 及び SESSAD) 所長を経て、2005 年から同大学で教鞭をとる。博士。特殊教育の成立史にも詳しい。現在の研究テーマは障害のある子どもの就学における専門家間の共同と障害の社会政策。

14 : 50~15 : 00 休憩

15 : 00~16 : 30 **国境を越える障害のある子どもたち-重度障害児就学の現実-** (仮題)

Anne Auvrignon 氏 (保護者・Hôpital Armand-Trousseau 医師)

講師紹介 : 血液学、小児がんを専門とする医師。重度障害のある長女の育児について「Bonjour, Jeune Beauté !」(2013) を、ご夫婦で上梓。表題の「Exiles mentaux」(2014) は国営テレビ France 2 でも“フランスの醜聞”として取り上げられる。Jeanne Auber はペンネーム。

16 : 30~16 : 50 質疑・討論

16 : 50~17 : 00 総評・閉会

4. 連絡先 : 国立特別支援教育総合研究所 棟方哲弥

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比 5-1-1

e-mail : munekatt@nise.go.jp FAX : 046-839-6909

5. 参加費 : 無料 上記 e-mail あるいは FAX へ「氏名・e-mail 等の連絡先」をお送り下さい。先着順に参加票をお送り致します。

